1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

	サネハルタ (ナ	A(7) 100 (7) 1			
	事業所番号	1292400130			
法人名 社会福祉法人宝樹					
	事業所名	クループホームニコニコット			
	所在地	所在地 千葉県市原市有秋台2-4-10			
	自己評価作成日	令和2年12月10日	評価結果市町村受理日		

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

62 軟な支援により、安心して暮らせている

(参考項目:28)

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8
訪問調査日	令和2年12月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームニコニコットは、「思いやりの理念」のもと入居者との触れ合いを通じて生きる喜びを共有できるよう支援している。散歩や趣味活動、洗濯、調理、後片付け、掃除等の家事を職員と共同で行い、各入居者が持っている力を活用したり楽しい時間を持てるよう支援している。医療面において、主治医及び訪問看護ステーションと24時間連携し、入居者の健康管理を実施。高齢のため体力低下や食事量減少が見られるケースに対して低下を軽減できるように生活したり、摂取しやすい食品や嗜好、カロリーを考慮した食事提供をしている。また、食品の安全管理を行い、安心して食事ができるよう支援している。年6回の運営推進会議実施や馴染みの公園、お店への外出により、地域における施設運営の透明化と地域とのつながりを維持している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームニコニコット」は閑静な住宅地にある2階建ての建物である。施設内はバリアフリー環境が整備され、エレベーターが設置されており、入居者の身体機能に配慮した造りとなっている。駐車場の一角にログハウスを設置しており、地域住民の憩いの場として提供する等、地域住民との積極的な交流に取り組むと共に、入居者が敷地内で外出気分が味われるよう配慮する等、多種多様の使い方を通じて、施設の理解促進に繋げている。今年は新型コロナウイルス感染対策の為、家族との面会は場所と時間を限定して実施している。また、入居者の日常を綴った「ニコニコ通信」の家族への送付や電話対応の機会を増やす等、家族との継続的な繋がりを大切にしている。

			取り組みの成果				取り組みの成果
	項目		↓該当するものに○印		項 目	↓該	当するものに〇印
	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向		1. ほぼ全ての利用者の		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求		1. ほぼ全ての家族と
56	を掴んでいる	0	2. 利用者の2/3くらいの	63	めていることをよく聴いており、信頼関係ができ	0	2. 家族の2/3くらいと
00	(参考項目:23.24.25)		3. 利用者の1/3くらいの	03	ている		3. 家族の1/3くらいと
	(多为项目:25,24,25)		4. ほとんど掴んでいない		(参考項目:9,10,19)		4. ほとんどできていない
	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面	0	1. 毎日ある		通いの場やグループホームに馴染みの人や地		1. ほぼ毎日のように
57	がある		2. 数日に1回程度ある	6.4	域の人々が訪ねて来ている	0	2. 数日に1回程度
<i>J</i> /	(参考項目:18.38)		3. たまにある	04	域の人々が訪ねて木といる (参考項目:2.20)		3. たまに
	(参与项目:10,30)		4. ほとんどない		(多号項目:2,20)		4. ほとんどない
			1. ほぼ全ての利用者が		運営推進会議を通して、地域住民や地元の関		1. 大いに増えている
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	0	2. 利用者の2/3くらいが	65	係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所	0	2. 少しずつ増えている
00			3. 利用者の1/3くらいが	00	の理解者や応援者が増えている		3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない		(参考項目:4)		4. 全くいない
	ひのおけ 映り バナダナフーレールナルナール		1. ほぼ全ての利用者が		職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)		1. ほぼ全ての職員が
E0	利用者は、職員が支援することで生き生きした	0	2. 利用者の2/3くらいが	66		0	2. 職員の2/3くらいが
9	表情や姿がみられている (参考項目:36.37)		3. 利用者の1/3くらいが	00			3. 職員の1/3くらいが
	(参考項目:30,37)		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
	ひのおは こりのにされいしころ、 いんりてい		1. ほぼ全ての利用者が		動号 ひこせる カロネオリーバットかかむ		1. ほぼ全ての利用者が
-	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけてい		2. 利用者の2/3くらいが		職員から見て、利用者はサービスにおおむね	0	2. 利用者の2/3くらいが
υO	る (参考項目:49)	0	3. 利用者の1/3くらいが	67	満足していると思う		3. 利用者の1/3くらいが
	(参考項日:49)		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
	和田老は 焼き然理は医療子 ウムエイスウ	0	1. ほぼ全ての利用者が		助号 4.2 日マ 和田老の京杉佐は 1 パラに		1. ほぼ全ての家族等が
0.1	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安		2. 利用者の2/3くらいが		職員から見て、利用者の家族等はサービスに	0	2. 家族等の2/3くらいが
υI	なく過ごせている (余を原見・20.21)		3. 利用者の1/3くらいが	68	おおむね満足していると思う		3. 家族等の1/3くらいが
	(参考項目:30,31)		4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
	11円表は、その吐もの小児は亜切に立じたる	0	1. ほぼ全ての利用者が				
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔		2 利田者の2/3くらいが				

2. 利用者の2/3くらいが

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+-)+(Enter+-)です。]

自	外	項目	自己評価	外部評価	ti l
ᄅ	部	块 口 	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ι.3	里念し	に基づく運営			
1		〇理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理 念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有し て実践につなげている	「思いやりの心」という理念のもと、入居者が 地域で安心して生活できるよう支援してい る。事務所や正面玄関入口に理念を掲示 し、職員全員が共有し実施している。	「高齢者に対する感謝と尊敬の念を持ち、入居者とスタッフの触れ合いを通じて生きる喜びを共有する住まいを築く」という施設理念を掲げている。理念は、事業所内に掲示し、内部及び外部の人達への周知を図ると共に、新人研修や現任研修を通して職員へ意識浸透に努める等、理念に基づいた支援の実践に取り組んでいる。	
2		〇事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に交 流している	散歩や地域の公園、店に出かける等して地域との関係性を築いている。運営推進会議	日頃から地域の公園への散歩や商店での買い物を通して、地域の人達と交流を図っている。また、保育園児と触れ合う機会もあり、世代を超えた交流が入居者の楽しみや生活活性化に繋がっている。施設の駐車場にログハウスを設置し、入居者と地域住民が交流する場として活用する等、施設活動の理解浸透に繋げている。しかし、今年は新型コロナウイルス感染対策の為、地域との交流は中止している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向け て活かしている	運営推進会議において、入居者の生活状況 を報告し、地域住民の認知症に対する理解 を図っている。		
4		〇運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、 評価への取り組み状況等について報告や話し合 いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かし ている	2か月に1回開催。市の担当職員、地域包括 支援センター職員、地域の代表者、職員で構成し、書面を活用し状況報告、活動報告、意 見交換をしている。	進・サービスの質の向上に取り組んでいる。	

【千葉県】グループホーム ニコニコット

自己	外	項目	自己評価	外部評価	ti l
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	〇市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業 所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に 伝えながら、協力関係を築くように取り組んでい る	運営推進会議及び議事録提出、日頃のサービスの相談において市町村と連携し、適切な 支援を行っている。	市の担当者とは、運営に関わる相談や報告を行い、連携を図っている。また、運営推進会議や研修会等を通じて、意見・情報交換を行う機会を設け、地域の課題解決に向け、共に取り組んでいる。しかし、今年は新型コロナウイルス感染対策の為、会議等は中止になっており、連絡を取り合う形で協働関係を築いている。	
6	(5)		安全対策のため、玄関の施錠をしているが、 本人の希望に応じて外出機会を作っている。 職員間では毎月の会議やサービス担当者会 議にて、身体拘束を理解し、実践している。	体拘束の無いケアの実践に取り組んでいる。	
7		〇虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	日頃の申し送りや会議、委員会活動を通して、入居者や家族、サービス提供の状況を確認し、虐待をしない支援に繋げている。		
8			入居者の状況に応じて、都度、市の職員に 相談をして、その内容を職員間で共有して知 識の普及を図っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者 や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を 行い理解・納得を図っている			

自	外		自己評価	外部評価	<u> </u>
크	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10		○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営 に反映させている	入所時やケアプラン更新時、日常の利用者 との生活、家族面会時、電話でのやりとりに	面会や電話連絡の際に、家族からの意見や 要望を確認している。また、運営推進会議、 の開催を通して、意見・要望等を表せる機会 を作っている。挙がった意見や要望等につい ては、会議や連絡帳等を活用し、職員間で同 知・検討の上、適切な改善に努めている。定 期的に日々の生活を写真に綴った「ニコニコ 通信」を家族に送付する等、理解促進及び 頼関係構築を図っている。しかし、今年はの 類コロナウイルス感染対策の為、家族との 会は、場所と時間を限定して実施すると共 に、電話対応の機会を増やす等、家族との 関係継続に配慮した支援を心掛けている。 関係継続に配慮した支援を心掛けている。	
11				定期的に会議を開催し、職員からの意見・提案を確認すると共に、個人面談を実施しており、職員の思いや意見を傾聴する機会を設けている。内部研修の実施・外部の研修への参加啓発及び研修費用の支援等、研修参加の機会を確保し、施設や地域のサービス向上を目指した人材育成に取り組んでいる。しかし、今年は新型コロナウイルス感染対策の為、外部で実施されている研修は、中止となっている。	
12		代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤 務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがい など、各自が向上心を持って働けるよう職場環 境・条件の整備に努めている	代表者が面談や全体会議にて管理者及び 職員と意見交換をして働きやすい環境作りに 努めている。各職員の状況に応じて労働時 間や日数を調整したり、業績を考慮し昇給な ど待遇面を見直している。		
13		を進めている	定期的に内部研修を実施したり、会議において利用者の状態に合わせたケアを実践できるようにしてサービスの質の向上に努めている。		
14		〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機 会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問 等の活動を通じて、サービスの質を向上させてい く取り組みをしている	し、同業者との情報交換やネットワーク形成		

自	外	C	自己評価	外部評価	<u> </u>
自己	部	項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Π.5	安心と	:信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係	入所前に日常の生活状況や本人の意向を		
			確認し、施設サービス計画を作成して、それ		
			に基づいて安心した生活を送れるよう支援し		
-		の安心を確保するための関係づくりに努めている			
16		〇初期に築く家族等との信頼関係	入居前の面接や電話、重要事項説明、入居時の推設サービス計画説明にて、西望を確		
		サービスを導入する段階で、家族等が困っている こと、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係			
		こと、个女なこと、安皇寺に耳を傾けなから、関係 づくりに努めている	る。		
17		○初期対応の見極めと支援	日常の観察や意見交換、申し送り、毎月の		
''			日本の観景で思えています。中に近り、毎月の日会議、サービス担当者会議にて本人の生活		
			状況を確認して各入居者に適切な支援がで		
		サービス利用も含めた対応に努めている	きるようにしている。		
18		〇本人と共に過ごし支えあう関係	各入居者の能力、意向に応じて家事や趣味		
		職員は、本人を介護される一方の立場におか	等の活動を共同で行っったり生活の支援をし		
		ず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている			
19		○本人を共に支えあう家族との関係	本人との関係性維持のために、家族に施設		
		職員は、家族を支援される一方の立場におか	サービス計画の内容説明や意向確認をした		
		7 1 1 1 1 2 13 13 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	り、運営推進会議参加の声かけをしている。		
		を支えていく関係を築いている	また、できるだけ面会や外出の機会を作れるようにしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援	87120 CV - 00	地域の商店への買物や地域行事への参加	
	()	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場		等、馴染みの場所への外出を支援している。	
		所との関係が途切れないよう、支援に努めている		また、家族との外出・外泊は自由となってお	
				り、家族関係継続も支援している。入居者一	
			散歩を実施している。また馴染みのある人物		
			や持ち物等との関係性を維持できるよう支援		
			している。	ルス感染対策の為、今年度は、家族との外	
				出や外泊は実施しておらず、短時間の面会	
				や電話連絡で継続的な交流が出来るよう働きかけている。	
21		 ○利用者同士の関係の支援	670 + 184 1.71 11 + 51 + 12 -		
-		利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立	各入居者が持っている力や考えに応じて、		
		せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるよう	日々の生活において共同で活動する等生活できるように支援している。		
		な支援に努めている	ててるように又抜している。		
22		○関係を断ち切らない取組み			
		サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関			
		係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族	行っていない。		
		の経過をフォローし、相談や支援に努めている			

自己	外		自己評価	外部評価	<u> </u>
	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
1II . 23	(9)		申し送り、会議、サービス担当者会議等で職員間で各利用者の思い、暮らし方の希望、 意向を把握している。日常表情やしぐさを観	入所前に本人及び家族から意向・生活歴・身体状況等を確認している。また、必要に応じて、医師や他のサービス事業所から情報を収集し、入居者一人ひとりに合わせた支援に繋げている。入所後も情報把握に努め、会議等で検討や確認を行う等、現状に即した支援に取り組んでいる。	
24		に努めている	サービス担当者会議、職員会議、申し送り等 にて各利用者の生活歴、馴染みの暮らし 方、本人の意向を把握している。		
25		〇暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	入所前は、本人、家族、他事業所等から情報を頂き、入所後は日常の観察や対話、申し送り、職員会議、サービス担当者会議において、現状の把握に努めている。		
26	, ,	に即した介護計画を作成している	各職員と利用者及び家族との関わりから、本人や家族の生活に対する意向、生活状況を 把握し、職員会議やサービス担当者会議に おける意見交換を行い、現状に即した介護 計画を作成している。	本人・家族の意向や記録を基に、計画作成 担当者が原案を作成し、全職員及び担当医 と意見・情報交換を行い、介護計画を作成し ている。定期的に目標達成状況の確認や評 価を行い、必要に応じて介護計画の見直しを 実施し、現状に即した介護計画の作成に努 めている。実施状況や介護計画の見直しに ついても、日々の記録・気づき・工夫等を活 用しながら検討を行い、全職員が統一したケ アの実践に向け取り組んでいる。	
27		日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	報を共有している。介護計画の更新における 資料としても、個人記録、議事録を活用して いる。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の要望に応じて訪問理美容の利用支援や馴染みのお店や公園等への外出		

自己	外	項目	自己評価	外部評価	t i
	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		〇地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人の希望に応じて散歩や公園、買物等の 外出を支援している。		
30	(11)	〇かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納 得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受けられるように支援し ている	本人や家族の希望に即して主治医や訪問看護ステーションと連携して医療が受けられるように支援している。また、本人の状態や本人と家族の希望に応じて他科受診の支援をしている。	協力病院の他、希望のかかりつけ医への受診が可能となっている。必要に応じて内科医や歯科医による往診が実施されており、適切な医療支援が行われている。また、訪問看護の看護師による健康管理・服薬管理・医療面における相談や対応等も行っており、入居者・家族・職員等の不安解消に繋げている。他にも、訪問マッサージの利用も可能となっており、身体機能の維持及び向上に繋げている。	
31		を受けられるように文援している	日常の健康観察から利用者の状態変化を把握し訪問看護ステーションに連絡、相談し、 医師や看護師の意見に基づいて受診や服薬等適切に対応している。		
32		利用者が入院した際、安心して治療できるよう に、又、できるだけ早期に退院できるように、病院	り、状態把握に努めている。また、毎月の主		
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早 い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業 所でできることを十分に説明しながら方針を共有 し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組ん でいる	支援導入に向けて検討している。重度化した 場合、本人や家族の意向を確認し、他施設	る。重度化・終末期においては、全職員が入 居者・家族の意向を踏まえ、支援方法の検	

白	外		自己評価	外部評価	
自己	部	項 目	実践状況	実践状況	- 次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職 員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行 い、実践力を身に付けている	入職時に、職員にマニュアルを配布したり、 申し送りや職員会議、研修にて、急変や緊急 時の対応に備えている。事業所内にも連絡 体制マニュアルを掲示し有事に備えている。		
35	, ,	〇災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を全職員が身につける とともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練を実施。災害時の備品は、施設内で備蓄している他法人施設から支援を受けられる体制になっている。また、井戸水の利用ができるため、災害時の生活用水を確保できている。	スプリンクラー・火災報知器・自動通報機・消火器等の消防設備を設置していると共に、年2回、消防署届け出の下避難訓練を実施している。同法人運営の施設とは、災害時の具体的な支援体制を整備する等、連携強化を図っている。他にも、職員が救命救急講習を受講しており、急変時や事故発生時等の対応方法を身に付けている。	
		人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36		〇一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシー を損ねない言葉かけや対応をしている	申し送りや会議、研修にて、事業所の理念に ある「利用者への感謝と尊敬の念」を職員間 で共有でし、各利用者を尊重した言葉かけに て丁寧に対応している。利用者の自尊心や プライバシーにも配慮している。	シーと尊厳を大切にしている。また、個人情	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、 自己決定できるように働きかけている	毎月の会議や申し送り等において、全職員に利用者が意向を表出できる関係づくりに取り組んている。ケアプラン更新時にも意向を確認して職員間で共有している。		
38		人ひとりのペースを大切にし、その日をどのよう に過ごしたいか、希望にそって支援している	食事やお茶、間食の時間は決まっているが、 その他は個々の利用者の意思やペースで過 ごしている。職員が身体清潔等の支援をする 際も、本人の意向を確認し、利用者本位の サービスに取り組んでいる。		
39		〇身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	利用者や家族の希望に応じて訪問理美容の 利用支援を行っている。服装については、気 象状況を考慮し職員が協力して行っている。		

自	外		自己評価	外部評価	<u> </u>
己	部	块	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40		〇食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に 準備や食事、片付けをしている	利用者の希望や能力に応じて、職員と協働 し食事の準備や片付けをしている。利用者の 希望を確認しつつ行事食やイベント食を提供 し、食事を楽しめるようにしている。		
41		応じた支援をしている	を受け本人の状態に合わて栄養、水分摂取 の支援をしている。食事・水分提供の際、利 用者の好みや習慣に合わせている。		
42		〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ アをしている	職員が個々の利用者の口腔ケア実施能力を 把握し、実施後に職員が確認し、本人の状態に合わせて介助している。口腔内の異変があった場合は、協力医療機関の歯科医に 相談し往診をして頂いている。		
43		〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	介護記録を活用して本人の排泄パターンや表情、しぐさ等を把握しトイレで排泄できるよう支援している。また、本人の状態に合わせて自力では困難なことを介助しつつ最大限自立に向けて支援している。	排泄チェックリストを活用しながら個々の排泄パターンを把握しており、声掛け・トイレ誘導を行いながら、排泄の自立に向けた支援を行っている。また、食事メニューの工夫・水分・乳製品の摂取・体操・マッサージ等を行い、排便を促すと共に、必要に応じて、医師・看護師・薬剤師に相談しながら適切な排便コントロールに努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工 夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に 取り組んでいる	介護記録にて各利用者の排泄状況を把握し 便秘に対して散歩や運動、ヨーグルト摂取等 をしている。また、主治医や訪問看護と連携 し、状態観察を依頼したり、主治医の指示に 合わせて下剤を服用する等している。		

自	外 部	項目	自己評価	外部評価	
自己			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	, ,	〇入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を 楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決 めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週3回程度の入浴日を予定。都度本人に希望の時間帯を確認し実施している。入浴は週3回と固定せず、本人の体力や希望を考慮して、柔軟に対応し身体清潔支援を実施している。	入浴は、入居者の希望や体調に応じて、柔軟に対応している。清拭・シャワ一浴・部分浴等も実施しており、入居者の清潔保持に取り組んでいる。他にも、季節の果物や沐浴剤を活用する等、入浴がより楽しめるような工夫も行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している			
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	各利用者の薬剤情報を全職員が確認できるようにして把握している。また、職員が各利用者の処方箋に合わせて服薬支援をしている。健康状態に変化が生じた時には主治医や訪問看護に相談している。		
48		〇役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一 人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の希望や生活歴を把握し、楽しみある生活を送れるようお花の手入れや調理、 食後の片付け、洗濯物干し、洗濯物畳み、散歩、歌、創作活動等を行いっている。		
49	(18)	〇日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常において本人の希望を確認し、散歩や 買い物、近隣の公園への外出などを支援し ている。また、家族の協力を得て馴染みのお 店に出かけられるようにしている。	希望や天候に応じて、散歩・ドライブ・買い物等を実施し、戸外に出る機会を確保している。定期的に外出会を企画・実施しており、戸外での楽しみを支援している。今年は新型コロナウイルス感染対策の為、外出や交流活動は中止しているが、日常的な散歩や駐車場のログハウスでの日向ごっこやお茶飲み等は行っており、入居者の気分転換や生活活性化に繋がっている。	
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解し ており、一人ひとりの希望やカに応じて、お金を 所持したり使えるように支援している	本人や家族の希望に応じ、利用者本人が自由に使えるお金を事業者内で保管し、利用者の消費活動の支援をしている。買物の際は、職員や家族が同行し必要な支援をしている。		

【千葉県】グループホーム ニコニコット

自己	外 部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		〇電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙 のやり取りができるように支援をしている	本人・家族の希望に応じて手紙のやりとりや 切手・手紙の購入を支援している。また、外 部からの電話の取りづぎもしている。		
52	(12)	室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を取り入れている。共用の空間を毎日清掃している。トイレは車いす対応型で人感センサーも設置。アイランドキッチン使用にて発火予防に努めている。避難経路や非常設備も確保している。	施設は2階建で、各フロアーはバリアフリーとなっており、十分な介助スペースが確保されている。施設内には、季節の飾り付け・入居者による作品・行事や外出時の写真等が掲載されており、楽しい雰囲気作りがなされている。エレベーターが設置され、身体状況に応じた環境が整っており、入居者の安心や安全な生活に繋がっている。	
53		共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利	テーブルや椅子の配置を工夫したり、駐車場内のログハウスや屋外の敷地内に設置しているベンチで、一人もしくは気の合う利用者同士で過ごせるように配慮している。		
54	(==,	〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相 談しながら、使い慣れたものや好みのものを活か して、本人が居心地よく過ごせるような工夫をして いる	居室には、従来使い慣れた物や好みの物を 持ち込んで頂き、居心地良く過ごせるよう配 慮している。エアコンや窓の開閉、加湿器に よる空調管理をして、快適に過ごせるように している。	入居者・家族の希望に応じて、馴染みの物を持ち込む事が可能となっており、居心地良く生活できるよう配慮している。また、布団を敷く事も可能となっており、生活歴に配慮した居室作りが行われている。各居室は、プライバシーの確保がなされていると共に、エアコンが設置されており、利便性・快適な生活に配慮した設計となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	事業所内はバリアフリーになっており、手すり、エレベーターを設置、居室、浴室、トイレの工夫をして、安全かつ能力を発揮して生活できる環境づくりをしている。		